

資料 (Note)

# むかわ町穂別博物館における 2018 年北海道胆振東部地震からの復旧対応

## Restoration time sequence of the Hobetsu Museum from the damage of the 2018 Hokkaido Eastern Iburi earthquake

西村智弘<sup>1,2</sup>

Tomohiro Nishimura<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup> むかわ町穂別博物館, 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6

<sup>1</sup> *Hobetsu Museum, 80-6 Hobetsu, Mukawa Town, Hokkaido 054-0211, Japan*

<sup>2</sup> 北海道大学総合博物館, 北海道札幌市北区北 10 条西 8

<sup>2</sup> *Hokkaido University Museum, Kita 10, Nishi 8, Kita-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-0810 Japan*

Corresponding author: T. Nishimura, tnishimura@town.mukawa.lg.jp

**Abstract.** Restoration time sequence of the museum recovery from the damage of 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake by staffs of the Hobetsu Museum was described. Recovery work as a town officer prioritized over restoration of the museum, because, this public museum is established and managed by Mukawa Town. Recovered each staff's life also prioritized over restoration of the museum. Restoration works for the museum included rescue of registered materials and specimens began after eight-days from the earthquake.

**Keywords:** 2018 Hokkaido Eastern Iburi earthquake, museum staff, restoration of the museum

(2019 年 10 月 18 日受付, Received 18 October 2019)

### I はじめに

2018 年 9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震によるむかわ町穂別博物館の被害については当研究報告第 34 号 (西村・櫻井, 2019a) で, 被災体験と博物館復旧対応の概要については日本古生物学会和文誌「化石」(西村・櫻井, 2019b) で報告した。

上記の内容に加えて, 職員による博物館復旧について学会ポスター発表 (西村・櫻井, 2019c) や講演で紹介してきた。本稿ではこの復旧対応の記録を残すために記述する。

### II 博物館職員の対応

博物館職員は未明の地震発生後, 周辺住民の安否確認, 博物館の被害状況確認, 自宅の片付けなどを行っている。博物館職員の内, 正規職員および再任用職員はむかわ町災害対策本部の業務について。また, 地震発生当日に災害対策業務が免除された全職員 (嘱託および臨時職員) に自宅待機が命じられ, 博物館は臨時休館に入った。なお,

学芸員の西村は北海道大学 (札幌市) で開催されていた日本地質学会に参加中であったことと, 停電のため地震被害の情報の収集が困難であったことから, むかわ町穂別地区の災害対策本部に合流したのは 15:30 になった。

災害対策本部に配置された職員の内, 再任用職員は災害対策本部にほぼ常駐となり, 災害対策本部解散後も罹災関係の事務手続きを行っていたので, 実質的に災害対策業務へと転換された。

災害対策本部に配置された学芸員らは, 地震発生日から避難所運営を行った。地震後 2・3 日目から学芸補助員らが博物館の片づけを始め, 事務室や作業場の片付けをはじめた (図 1)。

展示室や収蔵庫の博物館資料 (特に登録資料) については, 学芸員が被害状況を把握しながら片づける必要があったが, 学芸員らはむかわ町の正規職員であり, むかわ町の災害対策業務を優先させる必要があったので, 博物館資料の本格的な片づけは後回しになった。

地震発生 4 日目からは, 北海道などから職員が派遣されたので職員の避難所対応業務が軽減されたが, それでも職員数が足りなかったので, 学芸

